

様式第6号（第5条関係）

令和6年4月15日

酒田市議会議長 佐藤 猛 殿

会 派 名 市政研究会

代表者名 齋藤 美昭

令和 5 年度政務活動費報告書の提出について

酒田市議会政務活動費の交付に関する条例第7条第1項に基づき、別紙のとおり
令和5年度政務活動費報告書を提出します。



様式第7号（第5条関係）

令和5年度政務活動費収支報告書

会派名 市政研究会

1 政務活動の成果

調査研究費では参議院議員会館において文部科学省、経済産業省の2つの中央官庁の諸施策について調査・情報収集を行った。

経済産業省では「ブカツの未来」について、自治体DX推進の背景・意義、推進計画、重点取り組み事項等について確認できた。自治体DX推進手順書参考事例集に本市DXの取り組みが掲載されていた。

文部科学省では、教員の働き方改革のための2024年度予算関係、教育振興計画（後期）について、文部科学省の現場目線での熱い思いが実感できた。また、公益大の存続にも係る急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方（諮問）について説明を受けた。公益大存続のためにも公立化を急ぐ必要がある。

日本民間公益活動連携機構（東京）、ボーダレス・ジャパン、九州大学、㈱マイソルから「休眠預金活動の概要」「休眠預金活動事業とソーシャルビジネスの現状について」説明をうけた。約1400億円ある休眠預金をいかに活用していくか、特に遅れている山形県において、具体的な方向性について示唆をいただいた。本市でも可能とのことであった。サンロクとの連携も考えたい。

2 収 入

政務活動費 600,000円

3 支 出

科 目	金 額 (円)	備 考
調 査 研 究 費	242,200	交通費・宿泊費等
研 修 費	0	
広 報 費	0	
広 聴 費	0	
要 請 ・ 陳 情 活 動 費	0	
会 議 費	0	
資 料 作 成 費	621	コピー代
資 料 購 入 費	0	
人 件 費	0	
事 務 所 費	0	
合 計	242,821	

4 残 額 357,179円

（注）備考欄には主たる支出の内訳を記載する。

政務活動費支出内訳書

① 調査研究費

3. 広報費

5. 要請・陳情活動費

6. 會議費

8. 資料購入費

9. 人件費

No.	年月日	内 容	債 権 者	金 額 (円)	備 考
I		視察旅費 (2/7~2/9)		242, 200	領収書・支払報告書
		齋藤美昭、佐藤 弘 参加			領収書・支払報告書
	R6. 2. 7	一般財団法人：日本民間公益活動連携機構 (J A N P I A)			領収書・支払報告書
	R6. 2. 8	(株) ボーダレス・ジャパン、(株) マイソル、 九州大学エヌス&椎木ソーシヤル・ビジネス研究センター			領収書・支払報告書
	R6. 2. 9	参議院議員会館 (担当省庁：経済産業省、文部科学省、スポーツ庁)			領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
					領収書・支払報告書
合 計				242, 200	

市政研究会 行政視察行程表

令和6年2月7日(水)～9日(金)

月 日	発 駅	着 駅	連 結	視察地区及び内容	宿 泊
2/7 (水)	庄内空港	8:40	羽田空港	O一般財団法人日本民間公益活動連携機構 (JANPIA) ・休眠預金活動事業の概要と取り組みについて ①休眠預金活動の概要と全国の取り組み状況 ②山形県の現状 (公募が少ない要因等) ③先進事例の取り組み状況 ④今後の課題について 〒100-0011 東京都千代田区千代田2丁目2-3 日比谷国際ビルディング 314 TEL: 03-5511-2020	<宿泊> ホテル法華クラブ福岡 〒812-0018 福岡県福岡市博多区住吉3丁目1-9 TEL: 092-271-3171
	羽田空港	10:06	三田駅		
	三田駅	10:40	内幸町駅		
	昼 食				
	O一般財団法人日本民間公益活動連携機構 視察 (13:00~14:30)				
	内幸町駅	14:45	三田駅		
	三田駅	14:59	羽田空港		
	羽田空港	16:25	福岡空港		
	福岡空港	19:08	博多駅		
	夕 食・宿 泊				
2/8 (木)	テレQ前	9:13	今泉一丁目	O株式会社ボーダレス・ジャパン ・休眠預金活動事業とソーシャルビジネスの現状について ①休眠預金活動事業とソーシャルビジネスの現状について ②自治体との連携 (クラウドファンディング、ふるさと納税等) の現状 ③今後の課題について 〒810-0041 福岡県福岡市中央区大名1丁目3-7 サウスステーション 13階 TEL: 092-292-5791 O九州大学ユスズ&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター ・休眠預金活動事業とソーシャルビジネスの現状について ①休眠預金活動事業とソーシャルビジネスの現状について ②大学と連携するに至った経緯から現在の取り組みについて ③今後の課題について O株式会社マイソール ・休眠預金活動事業とソーシャルビジネスの現状について ①設立の経緯と現状について ②現在の具体的な取り組み状況 (ダイバーシティ経営、サポートサービス等) について ③今後の課題について 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原4-9-1	<宿泊> アパホテル (永田町半蔵門駅前) 〒102-0093 東京都千代田区平河町1丁目3-5 TEL: 0570-03-6411
	キャナル・イーストビル・国体道路方面				
	O株式会社ボーダレス・ジャパン 視察 (10:00~12:00)				
	西鉄福岡駅	12:12	大橋駅		
	西鉄天神大牟田線 筑紫行				
	昼 食				
	O九州大学ユスズ&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター 視察 (13:00~14:00)				
	O株式会社マイソール 視察 (14:00~15:00)				
	大橋駅	15:19	西鉄福岡駅		
	天神駅	15:36	福岡空港		
福岡空港	16:20	羽田空港			
羽田空港	18:24	浜松町駅			
浜松町駅	18:51	有楽町駅			
有楽町駅	19:04	麹町駅			
東京モノレール 浜松町行					
JR京浜東北沿岸線 大宮行					
東京メトロ有楽町線 川越市行					
夕 食・宿 泊					

市政研究会 行政視察行程表

令和6年2月7日(水)～9日(金)

月 日	発 駅	着 駅	連 結	視察地区及び内容	宿 泊
2/9 (金)	○ 経済産業省・文部科学省行政視察 (10:00~12:00)			○経済産業省 ・「未来のフカツ」ビジョンの取り組み ①現状認識について ②「地域×スポーツ×クラブ産業研究会」の取り組みについて ③文部科学省との連携状況について ④自治体の課題(財源、人材等)について ⑤今後の課題と方向性について 参議院議員会館 〒100-0014 東京都千代田区永田町2丁目1-1 TEL: 03-3581-3111	○文部科学省 ・教員の働き方改革等の文科省ヒアリング ①2024年度概算要求(教員の働き方改革関連) ・教科担任制1年前倒し ・教員業務支援員増員 ・副校長、教頭支援員 ②中央教育審議会への諮問 ・私立大規模の意図、方向性について ③不登校対策 ・校内教育支援センターの促進 ・「教育支援センター」の位置付け ④教育振興基本計画について
	永田町駅	12:18	溜池山王駅		
	溜池山王駅	12:22	新橋駅		
	新橋駅	12:34	羽田空港		
	昼 食				
	羽田空港	15:55	庄内空港		
			ANA397便		

《参加者》 ◎市政研究会 齋藤美昭会長、佐藤弘幹専長 ◎県議会議員 江口暢子議員

旅 程 明 細 書

市政研究会

旅行日	発地名	鉄道km	特急km	航空運賃	その他	日 当	金 額
	着地名	鉄道運賃	特急料金	船 賃	金 額	宿泊料	
2月7日	酒田				バス	3,000	18,610
	庄内空港				810	14,800	
	庄内空港			77,500			77,500
	羽田空港						
	羽田空港	20.9km					660
	東京	660					
	東京	20.9km					660
	羽田空港	660					
	羽田空港						0
	福岡空港						
	福岡空港	3.3km					260
	博多	260					
2月8日	大橋	4.3km				3,000	18,020
	西鉄福岡	220				14,800	
	天神	5.8km					260
	福岡空港	260					
	福岡空港						0
	羽田空港						
	羽田空港	20.9km					660
	東京	660					
2月9日	東京	20.9km				3,000	3,660
	羽田空港	660					
	羽田空港						0
	庄内空港						
	庄内空港				バス		810
	酒田				810		
合 計							121,100 円
2人分							242,200 円

(備 考) ※市政研究会 斎藤美昭議員、佐藤弘議員

2/7～9 会派視察 東京都・福岡県

航空機利用要件⑧に該当

令和6年2月1日

市政研究会 様

株式会社日本海トラベル

〒999-7781山形県庄内町余目字矢口97-1

TEL0234-43-4312 FAX0234-43-4731

担当: 大場 直人

ご 請 求 書

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

また、この度もご依頼をいただき、誠にありがとうございます。

つきましては、旅費代が下記ようになりますので宜しくお願い申し上げます。

■期 日 : 令和6年2月7日(水)～9日(金) 2泊3日

■旅行先 : 福岡・東京

合計金額 : ￥189,200

(単位:円)

項 目	単 価	人 数	金 額	備 考
航空券代	77,500	2	155,000	庄内/羽田/福岡 往復
宿泊料	16,000	2	32,000	1泊朝食付・宿泊税含む 福岡・東京 1泊分
取扱料	1,100	2	2,200	
合 計	94,600	2	189,200	

領 収 証

No 58213

令和 6 年 2 月 2 日

市政研究会 様

金額	千	百	十	万	千	百	十	円
	¥	1	8	9	0	0		

但し

税務部費外

内	現 金		✓
訳	小切手		
	他		

上記の金額正に領収致しました

(捺印なきもの及金額訂正のものは無効に致します)

山形県知事登録 旅行業 第3-168号

株式会社 日本海トラベル

山形県東田川郡庄内町金目寺1-1
〒999-7781 TEL (0234) 43-4343 (代)
FAX (0234) 43-4344

登録番号 T4390001006474



到着地までお持ちください
Please do not lose this certificate.

保安検査証

Security Certificate

サイトウ ヨシアキ 様



63

出発時刻の10分前までにお越しください
Please be at the gate 10minutes before departure



搭乗順
Boarding

グループ
Group

5



座席
SEAT

29D

通路側
AISLE

2/7 ANA263便

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

16:25発



福岡
FUKUOKA

18:30着

マイレージ: AMC 受付済
Mileage : accepted

サイトウ ヨシアキ 様

マイレージ: AMC 受付済

2/7 ANA263便

BN:67 SN:29D ZONE:4

照会番号:RGLJSC02 種別:VV03E

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER

到着地までお持ちください
Please do not lose this certificate.

保安検査証

Security Certificate

サイトウ ヨシアキ 様



2

出発時刻の10分前までにお越しください
Please be at the gate 10minutes before departure



搭乗順
Boarding

グループ
Group

3



座席
SEAT

22K

窓側
WINDOW

2/7 ANA396便

庄内
SHONAI

08:40発



東京/羽田
TOKYO/HANEDA

09:45着

マイレージ: AMC 受付済
Mileage : accepted

サイトウ ヨシアキ 様

マイレージ: AMC 受付済

2/7 ANA396便

BN:56 SN:22K ZONE:3

照会番号:RGLJSC01 種別:VV01E

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER

ご搭乗案内

BOARDING INFORMATION

マイル受付済
AMC

サイトウ ヨシアキ 様

行先 DESTINATION

福岡
FUKUOKA

搭乗日 DATE

2024年 2月 7日

便名 FLIGHT ANA 263

座席
SEAT

29D

照会番号 RGLJSC02

VV03E BP BPV01 BN 67

ご搭乗案内

BOARDING INFORMATION

マイル受付済
AMC

サイトウ ヨシアキ 様

行先 DESTINATION

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE

2024年 2月 7日

便名 FLIGHT ANA 396

座席
SEAT

22K

照会番号 RGLJSC01

ANAウィングスによる運航

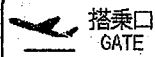
VV01E BP BL2F00 BN 56

到着地までお持ちください
Please do not lose this certificate.

保安検査証

Security Certificate

サイトウ ヨシアキ 様



9

出発時刻の10分前までにお越しください
Please be at the gate 10 minutes before departure



搭乗順
Boarding

グループ
Group 4



座席
SEAT

34B

中央
CENTER

2/8 ANA260便

福岡
FUKUOKA



東京/羽田
TOKYO/HANEDA

16:20発

17:55着

使用機到着遅れのため10分遅延いたします。
Delayed for 10 minutes due to late arrival.

マイレージ: AMC 受付済
Mileage: accepted

サイトウ ヨシアキ 様

マイレージ: AMC 受付済

2/8 ANA260便

BN:299 SN:34B ZONE:4

照会番号:RGLJSC03 種別:VV03E

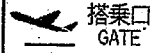
ANA A STAR ALLIANCE MEMBER

到着地までお持ちください
Please do not lose this certificate.

保安検査証

Security Certificate

サイトウ ヨシアキ 様



70

出発時刻の10分前までにお越しください
Please be at the gate 10 minutes before departure



搭乗順
Boarding

グループ
Group 4



座席
SEAT

28B

中央
CENTER

2/9 ANA397便

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

15:55発



庄内
SHONAI

16:55着

マイレージ: AMC 受付済
Mileage: accepted

サイトウ ヨシアキ 様

マイレージ: AMC 受付済

2/9 ANA397便

BN:98 SN:28B ZONE:3

照会番号:RGLJSC04 種別:VV01E

ANA A STAR ALLIANCE MEMBER

ご搭乗案内

BOARDING INFORMATION

マイル受付済
AMC

サイトウ ヨシアキ 様

行先 DESTINATION

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

搭乗日 DATE

2024年 2月 8日

便名 FLIGHT

ANA 260

座席
SEAT

34B

照会番号 RGLJSC03

VV03E

BP-BESYMI

BN 299

ご搭乗案内

BOARDING INFORMATION

マイル受付済
AMC

サイトウ ヨシアキ 様

行先 DESTINATION

庄内
SHONAI

搭乗日 DATE

2024年 2月 9日

便名 FLIGHT

ANA 397

座席
SEAT

28B

照会番号 RGLJSC04

VV01E

BP-BGXGLJ

BN 98

到着地までお持ちください
Please do not lose this certificate.

保安検査証
Security Certificate

サトウ ヒロシ 様



2

出発時刻の10分前までにお越しください
Please be at the gate 10minutes before departure



グループ Group 4



22J

中央
CENTER

2/7 ANA396便

ANAウイングスによる運航
Operated by ANAWINGS

庄内
SHONAI

08:40発



東京/羽田
TOKYO/HANEDA

09:45着

マイレージ: AMC 受付済
Mileage : accepted

サトウ ヒロシ 様

マイレージ: AMC 受付済

2/7 ANA396便

BN:8 SN:22J ZONE:3

照会番号:7GHXSX01 種別:VV01E

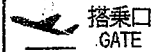


A STAR ALLIANCE MEMBER

到着地までお持ちください
Please do not lose this certificate.

保安検査証
Security Certificate

サトウ ヒロシ 様



70

出発時刻の10分前までにお越しください
Please be at the gate 10minutes before departure



グループ Group 5



28C

通路側
AISLE

2/9 ANA397便

東京/羽田
TOKYO/HANEDA

15:55発



庄内
SHONAI

16:55着

マイレージ: AMC 受付済
Mileage : accepted

サトウ ヒロシ 様

マイレージ: AMC 受付済

2/9 ANA397便

BN:12 SN:28C ZONE:3

照会番号:7GHXSX04 種別:VV01E



A STAR ALLIANCE MEMBER

2024/04/04 16:55

搭乗証明書 | 国内線

搭乗証明書

WEB cc6b5a27fc-165505-0-1
表示日 2024年04月04日(水)

搭乗者	サトウ ヒロシ様
搭乗日	2024年02月07日(水)
航空会社	ANA
座席	396
区間	庄内 - 東京(羽田)

AIRPORT CODE:SYO-HND
FARE TYPE CODE:W01E

 | A STAR ALLIANCE MEMBER ☆
ANA/全日本空輸株式会社
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

2024/04/04 16:56

搭乗証明書 | 国内線

搭乗証明書

WEB cc6b5a27fc-165559-0-2
表示日 2024年04月04日(水)

搭乗者	サトウ ヒロシ様
搭乗日	2024年02月07日(水)
航空会社	ANA
座席	263
区間	東京(羽田) - 福岡

AIRPORT CODE:HND-FUK
FARE TYPE CODE:W03E

 | A STAR ALLIANCE MEMBER ☆
ANA/全日本空輸株式会社
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

搭乗証明書

WEB cc6b5a27fc-165614-0-3
表示日 2024年04月04日(木)

搭乗者	サトウ ヒロシ様
搭乗日	2024年02月08日(木)
航空会社	ANA
便名	260
区間	福岡 - 東京(羽田)

AIRPORT CODE:FUK-HND
FARE TYPE CODE:V03E

 | A STAR ALLIANCE MEMBER ☆
ANA/全日本空輸株式会社
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

搭乗証明書

WEB cc6b5a27fc-165630-0-4
表示日 2024年04月04日(木)

搭乗者	サトウ ヒロシ様
搭乗日	2024年02月09日(金)
航空会社	ANA
便名	397
区間	東京(羽田) - 庄内

AIRPORT CODE:HND-SYO
FARE TYPE CODE:W01E

 | A STAR ALLIANCE MEMBER ☆
ANA/全日本空輸株式会社
ANA/ALL NIPPON AIRWAYS CO., LTD

1 日 程 令和6年2月7日（水）～2月8日（木）

2 現地調査視察先

- （1）一般財団法人日本民間公益活動連携機構（JANPIA）
- （2）株式会社 ボーダレス・ジャパン
- （3）株式会社 マイソル
- （4）九州大学 ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター

3 目的（調査項目）別掲

4 調査者 齋藤 美昭、佐藤 弘

5 調査の概要



< JANPIAの前で >

- （1）一般財団法人 日本民間公益活動連携機構（JANPIA）

【調査事項】休眠預金活動事業の概要と取り組みについて

- ① 休眠預金活動の概要と全国の取り組み状況
- ② 山形県の現状（公募が少ない要因等）
- ③ 先進事例の取り組み状況
- ④ 今後の課題について

① 休眠預金活動の概要と全国の取り組み状況

休眠預金とは10年以上出し入れがない預金のことを指し、約1,400億円ある。こうした預金を国や自治体が解決困難な社会課題の解決を図ること、民間公益活動に資することを目的として、2016年に民間公益活動を促進するための休眠預金等に係る資金の活用に関する法律（休眠預金等活用法）が制定された。一般財団法人 日本民間公益活動連携機構は休眠預金の「指定活用団体」として経団連が主導して2018年設立され、現在5年目を経過している。全国の取り組み状況としては、資金分配団体による助成事業数は170事業、中間支援機構による資金分配団体は全国257団体（うち公益財団法人1/3、NPOが1/3、他は一般社団法人）となっている。

② 山形県の現状（公募が少ない要因等）

地域の資金分配団体として山形県は空白地域であり、実行団としても2団体ということで、全国で最も少ない。少ないところは、中間支援組織がない。つまり資金分配団体になり得る団体がないことが、地域の実行団体数、事業数に影響している。実行団体の空白に近い地域の解消には、地域のステークホルダーと連携し、地域の課題解決を進める中核的団体、コミュニティ財団、コミュニティファンド、NPO中間支援組織等の存在がカギを握っている。

③ 先進事例の取り組み状況

資金分配団体の事例として、長野県では県が主導し地域とで作ったコミュニティ未来財団という中間支援組織がある。行政と民間が連携すると良い団体となる。山梨県は長野県の未来財団とタッグを組んで休眠預金を活用している。山梨県の富士山クラブは環境系のNPO法人で、長野県のサポートを受けながら資金分配団体となっている。休眠預金という国民の財産の活用について、地域の多様性が重視されている。

実行団体の事例として、沖縄県の公益財団法人オリオンビール奨学財団がある。沖縄は貧困率が高いため、子どもの貧困問題の解決が社会課題である。特にシングルマザーの就労支援のための活動を行っている。企業側とのマッチングや農福連携としてのマッチングを行っている。九州では、大工のなり手不足と、犯罪を犯した人を更生保護の目的で工務店で採用し、後継者としている。更生保護団体が資金分配団体になっている。また、耕作放棄地を活用してミントでフレグランスを作り、ネット販売している。

④ 今後の課題について

休眠預金活用制度は、地域における社会課題の解決を図るために、公的な制度ではできないものに取り組んでいくには有効な制度である。そのためには担い手の人材、プログラムオフィサーを育てることが重要である。また、社会的インパクト評価を実施することも重要である。例えば、子ども食堂に50人参加したというアウトプットも大事だが、子どもたちが学習支援を受けたか、生活支援を受けたか、心の変化がどうだったか、自己肯定感ができたか、といったアウトカムベースのインパクト評価を行うこと、自分事として評価することが最も大事なことである。また、役員には第三者を入れるなどのガバナンスコンプライアンスを効かせることも必要である。行政として地域の活性化のための課題をマッピングして県としてプランを作ることも大事である。昨年、山形市で制度についての説明会を行ったが、興味を持って参加された団体もあった。酒田からも参加した。今後も団体が少ない地方には出向いていきたいと考える。

【所感】

休眠預金活用制度を利用した地域課題解決のためのソーシャルビジネスが、全国でここまで多く展開されている中、山形県は後発地域であること知った。地方の社会課題は、人口減少や超高齢化により多様化し且つ制度の狭間にある課題については解決が困難な場合がある。本市でも、こうした制度を活用して資金を獲得し、人材を育成し、新しい事業を創出し、みんなで地域を盛り立てていく必要があるのではないかと。休眠預金活用制度は、そのための仕掛けの一つとして活用できるのではないかと。

(2) 株式会社 ボードレス・ジャパン

【調査事項】 休眠預金事業とソーシャルビジネスの現状について

- ① 休眠預金事業とソーシャルビジネスの現状について
- ② 自治体との連携（クラウドファンディング、ふるさと納税等）の現状
- ③ 今後の課題について

① 休眠預金事業とソーシャルビジネスの現状について

株式会社ボードレス・ジャパンは「ソーシャルビジネス」という、社会問題をビジネスという手法で解決するための会社である。2007年に設立。また、社会起業家の数は社会問題解決の数であることから、社会起業家を育成するボードレスアカデミー事業も行っている。現在、事業を行っている事業は51社になり、国内30社、世界13か国にわたる。ボードレス・ジャパンは事業によって社会問題がどれだけ解決できたかを重要視する。2023年末での売上額は80億円。事業の例として、バングラディッシュに雇用を作る革製品「レザーファクトリー」は、貧困の解決を目的としており、自社工場での直接雇用は900名、日本で20店舗を展開している。ミャンマーの農村貧困を解決するための事業ではサポート農家1万人となる。日本のホームレス問題の解決のために、住み込みの仕事で企業と組んだり身分証がないという人の保証人になったりなどして、1200人の再就職を支援した。

ボードレスアカデミーは起業家育成の事業として始めた。一つの大きなビジネスが社会を変える時代では

ない。経済合理性に合わないところは取り残されている、ということは市場規模が残っているということである。社会問題は社会構造から来ている。違う人が手を取り合うことで解決できる「競合、ではなく共創」それが社会企業のいいところである。2016 年 日本から社会起業家をもっと作れないだろうかと考え、吉本興業を参考にした。起業しても続かないことが多いが、ボーダレスで学んだ人は 6,7 割残る。思想、哲学があるから、やり方が違っていても、ぶれない軸が残る。その軸が残るための設計をする。資金のところは、キャッシュフロー設計を重要視する。

② 自治体との連携（クラウドファンディング、ふるさと納税等）の現状

ふるさと納税の寄付額を目指すというだけではなく、地域の魅力を伝えていくということが本来の目的であるはずである。ふるさと納税は 85.1%が未利用、891 万人が利用者、9,654 億円が寄付額と現状のふるさと納税は限界にある。返礼品をもらって終わりということではなく、寄付した後もコミュニティができるなど、目的・意義が重要である。お得な返礼品というだけでは動かない。女川町の高校生に奨学金をという使い方、西川町の地域を元気にという使い方、雲南市のクラウドファンディングで看護師をという使い方、手数料をもらわないで、支援者の共感や一緒にビジョンで環境を考えていくハチドリ電力 ハチドリソーラーなど、納税や税金の使い方を指定する、主権者教育という視点もある。

③ 今後の課題について

中間支援と伴走支援できる人をどう育てるかが課題である。勉強する仕組みがない。岡山県津山市、島根県海士町の産業支援センターでは自治体が助成している。自治体をスカウトしているが、プロジェクト型なので、伴走支援も用意していく。首長や議員などが新しい価値を理解していかないといけないし、交流人口と応援団を増やしていかないと、本当に地域を応援する人が増えない。より効果があるところを目指す現代において、ソーシャルビジネスは基本的に非効率と組んでいる。ビジネスからすると効率が悪いと考えるが、非効率は弱みではない。体温が通うところであり、そこに踏み込んでいけるかどうかである。気づいたときには競争優位になってしまう。瞬間ではなく、長い期間をみて取り組んでいくことが大事だ。サービスを通して社会を変えていけるのだという、意識を変えていくことである、

【所感】

ボーダレス・ジャパンが社会課題解決のための起業を支援、伴走するだけではなく、起業家育成を行い、これまで3か月受講が 350 人、2日間受講が 1200 人と、多くの起業家を輩出している。しかもその多くが 20~30 代の若い世代である。ソーシャルビジネス、アントレプレナーとは、これまで「公益」という言葉の関連で語られてきたと受け止めている。東北公益文科大学があり、公益のまちづくりを標榜する本市として、社会課題解決のためのビジネスを見直し、今後の施策に活かしていくべきではないかと思う。

(3) 株式会社 マイソル

【調査事項】休眠預金事業とソーシャルビジネスの現状について

- ① 設立の経緯と現状について
- ② 現在の具体的取り組み状況（ダイバーシティ経営、サポートサービス等）について
- ③ 今後の課題について

① 設立の経緯と現状について

2017 年、アウトソーシング事業のコールセンターとして、マイソルを立ち上げた。ヒューマンサポート事業としての人材育成も行っている。ビジョンは、一人でも多くの人が自分らしく働くことができる、多様性

ある社会を実現することである。ミッションは、社会的マイノリティの人たちが抱える働きづらさを解消し、人・企業・社会の全てに笑顔をもたらすこと、バリューは、課題解決に向けて挑戦し続けること、偏見を取り除いて情熱をもって向き合うことである。マイソルは、LGBTQ、障がい、ひとり親、社会的制約などの働く上で見えない障壁、就労課題となっているものを取り除くことへの取組みを行っている。コールセンターは、仕事としては、IN・OUT・メール（非対面はできる）・データ入力等それぞれの特性で就労することができる。いろんな企業が増えれば、いろんな仕事も増える。アウトソーシングすることによって、いろんな働き方ができる。福岡はコールセンター激戦区だが、Google に学んだ心理的安全性（いろんな一人一人が恐怖や不安を感じることなく働ける）を大事にした。

② 現在の具体的取り組み状況（ダイバーシティ経営、サポートサービス等）について

ダイバーシティ&インクルージョンは多様性を融合して変革をもたらす。現代は均質的な社会なのにイノベーションを起こせと言っている社会である。見えやすい違いはわかりやすいが、見えづらい違いはわかりにくい。精神疾患・内臓疾患・家族構成・学歴・国籍・アレルギー・性自認・性思考など、誰でも何かしらのマイノリティを持っている。それを「お互い様」を理解し合うことが大切である。現在社員は55名くらいだが、構造の明確化や組織作りのフレームを次のようにした。

- 1 行動宣言 自分らしく働く、人権を尊重し、差別をしない
- 2 教育／理解推進 LGBTQ研修 入社時に研修 グリーンウォッシング
- 3 人事・就業規則 応募要件 性別不詳・写真不要・通称名可 社内パートナーシップ制度
- 4 就業環境 本の貸し出し 九州レインボープライドへの参加
- 5 採用・広報 メッセージを発信し続ける
- 6 ブラッシュアップ

③ 今後の課題について

福岡は先進的で、社会的にも同性婚が認められている。同性パートナーでも証明書があれば、慶弔休暇も取れる。コールセンターも、中小企業は参入できるようになったということで、事業もやりやすい。他県から求人に応募する人は、理念に共感してくる人が多い。異業種交流会もあるが、それは、自分のためのメリットがあるという集まりで、誰かのために社会課題を解決するという同じ理念を共有する集まりからは、コンソーシアムが生まれる。ピュアな人たちが集まると話が尽きない。そういった人たちとつながることが重要だ。

【所感】地域の社会課題を解決することに大きな影響を与えている。

休眠預金活用の実行団体として起業を行った株式会社マイソルは、自分らしく働く社会を実現するというミッションの下、LGBTQ、障がい者、ひとり親などのマイノリティの人たちが自分らしく働くソーシャルビジネスカンパニーである。また、福岡県は、アライ福岡というステッカーを賛同する企業に配布していることから、マイノリティに対して理解があり、理念に共感した人とのつながりや関わりが、広がっている。起業づくりは人づくりであり、施策についても人づくりに力を入れる必要性を感じた。

（4）九州大学 ユヌス&椎木ソーシャル・ビジネス研究センター

【調査事項】休眠預金事業とソーシャルビジネスの現状について」

- ① ソーシャルビジネスの現状について
- ② 大学と連携するに至った経緯から現在の取り組みについて
- ③ 今後の課題について



<九州大学 岡田教授の説明>

① ソーシャルビジネスの現状について

国連のSDGsメンバーのムハマド・ユヌス博士が、グラミン銀行というビジネスを通して、バングラディッシュの女性の貧困という社会問題を解決に導いたことにより、2006年ノーベル平和賞受賞者となる。ソーシャルビジネスという新たな経済システムを構築したのである。現在は、世界でもグラミングループという名で巨大な銀行になっている。ユヌス・ソーシャル・ビジネスは7原則で成っている。

- ・目的は利益の最大化ではなく、貧困、教育、環境等の社会問題を解決すること。
- ・経済的な持続可能性を実現すること
- ・投資家は投資額まで回収し、それを上回る配当は受けないこと
- ・利益は社員の福利厚生の実現やさらなるソーシャル・ビジネスに再投資されること
- ・ジェンダーと環境に配慮すること
- ・雇用する社員にとってよい労働環境を保つこと
- ・楽しみながら

社会は、NPOで解決できないほど進んでしまった。ソーシャル・ビジネスしかない。きれいごとを通用させるのがソーシャル・ビジネスである。

② 大学と連携するに至った経緯から現在の取り組みについて

一般社団法人ユヌス・ジャパンは、「ソーシャル・ビジネス」の日本における普及・啓発・創出の活動拠点として2019年に設立された。2021年には公益財団法人九州経済調査協会と「九州地域ソーシャル・ビジネス・コンソーシアム」を設立し、指定活用団体である一般財団法人日本民間公益活動連携機構(JANPIA)から資金配分団体に採択され、実行団体への助成を行っている。事業対象は九州7県、沖縄県・山口県でソーシャル・ビジネスを行う団体で、助成期間は3年間、1団体当たりの助成金額は2000万円～5000万円で、現在の採択団体は5団体となっている。

③ 今後の課題について

二宮尊徳のような道徳のある経済を行わなければならない。現代は、こうあらねばとわかっているのに、目先の金や組織の考え方に流されていくけれども、自分の考えを持っていれば、それでつながってパワーとすることができる。行政の縦割りを横ぐしにできるのは議員である。パリオリンピックは、調達先の25%をソーシャルカンパニーにするとやっている。オリンピックに参加する開発途上国の選手はメダルを取れないと人生が終わる。第2の人生をどう準備するかもIOCとしては重要な問題である。その人が自立できる研修などをする必要もある。休眠預金活用のためには、素晴らしい人材育成が重要である。

【所感】

ユヌス氏がノーベル平和賞を受賞して18年、SDGs、ソーシャルビジネスと社会の意識転換を図るような考えやビジネスが、このように広がっていることに驚きを禁じ得ない。山形県では、一部の動きであるようだが、貧困や環境といった社会環境の変化に対応するため、また新たに公的税金とは違う資金取得による経済活動による社会課題解決のために、本市でも休眠預金活用について施策提言できればと思う。



<㈱マイソール福澤久CEOと>

1 日 時 令和6年2月9日(金) 10:00~12:00

2 調 査 地 参議院議員会館(担当省庁:経済産業省、文部科学省、スポーツ庁)

3 目 的 (1) 部活動の地域移行について
(調査項目) (2) スポーツ未来開拓会議(スポーツ庁、経済産業省)の中間報告
(3) 「未来のブカツ」ビジョンの取り組みについて(経済産業省、文部科学省)
(4) 教員の働き方改革等について(文部科学省)
① 2024年度概算要求(教員の働き方改革関連)
② 中央教育審議会への諮問について
③ 不登校対策(教育支援センターの位置づけと校内教育支援センターの促進)
④ 教育振興基本計画について

4 調 査 者 齋藤美昭、佐藤弘

5 調査の概要

(1) 部活動の地域移行について(文部科学省スポーツ庁地域スポーツ課 鴨志田暁弘課長補佐)

- ① 部活動の地域連携・地域移行と地域スポーツ・芸術文化環境の整備について
 - ・ 学校数の減少、それ以上に進む少子化で「生徒数・学校数はさらに小さく」なる中、部活動は持続困難。そんな中、学校における部活動改革の必要性。
 - 少子化が進む中でも、将来にわたり生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむ機会の確保。
 - 「地域の子供たちは、地域で育てる」という意識の下、地域のスポーツ・文化資源を最大限活用。地域の持続可能で多様な環境を一体的に整備。
 - 地域移行に関わる保護者の費用負担も課題。バウチャーも一つの考え。
 - 文化部:特に吹奏楽部。学校外だと、どこで音出しをし、楽器の運搬はどうするか。
 - 楽しみたい子と勝ちに拘る子、多様なスポーツ・文化、機会均等と教育的意義
 - 学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン(R4年12月)
 - ・ 学校部活動:地方公共団体は、スポーツ・文化芸術団体との連携や保護者等の協力の下、学校と地域が協働・融合した形での環境整備を進める。
 - ・ 新たな地域クラブ活動:学校部活動の維持が困難となる前に、学校と地域との連携・協働により生徒の活動の場としての地域クラブ活動を整備する。
 - ・ 学校部活動の地域連携や地域クラブ活動への移行に向けた環境整備

(2) スポーツ未来開拓会議(スポーツ庁、経済産業省)の中間報告

- 方向性
 - ・ 学校体育施設の有効活用について各自治体が早急に検討
 - ・ 地域のプロチーム、大学等によるスクールや体験会等の拡大
 - ・ 誰もが手軽にスポーツをすることができる「場」づくり
- 今後の具体的な取り組み
 - ・ 地域スポーツを担う企業等に対する学校体育施設の開放促進
 - ・ 学校体育施設の改修時の集約化や高度化等の推進
 - ・ 総合型地域スポーツクラブ等の地域スポーツの担い手の経営力と継続性強化
 - ・ 地域スポーツ環境の構築に向けた情報提供



<文部科学省担当者説明>

(3)「未来のブカツ」ビジョンの取り組みについて(経済産業省、文部科学省)

(経済産業省商務・サービスグループサービス政策課 加藤路子課長補佐)

部活 従来からの学校部活動(学校が担う教育課程外の教育活動。運営を外部委託する場合や外部指導者に指導を任せる場合を含む)を指している。

ブカツ 様々な運営主体が提供する地域のスポーツクラブ活動とし、従来の学校部活動とは異なる多様性に富んだ姿のイメージ

経済産業省では「休日の部活動を段階的に地域移行する」との方向性に呼応し「地域×スポーツクラブ産業研究会」を発足。2021年6月に、全世代に広くスポーツ環境を提供する姿(新しい社会システム)に必要な5つのポイントを提言した。＜地域スポーツクラブの発展可能性を考える＞

- ① 学校部活動の地域移行について「大方針の明確化」
- ② 大会参加資格を「学校部活動」に限らず、「民間クラブ」に門戸開放
- ③ スポーツは「有資格者が有償で指導する」という新しい常識を確立
- ④ 「学校施設の複合施設への転換と開放」の促進
- ⑤ 「スポーツ機会保障を支える資金環境」の創出

＜提言後の動き＞

①「未来のブカツ」フィージビリティスタディ事業(FS事業)を全国10カ所で実施。

学校部活動の地域移行の受け皿として採算の合う事業体の運営は、どんな条件が揃えば可能になるか。

- ・採算の合う事業運営は可能か
- ・会費以外の収益確保の方法は
- ・受益者負担の程度は
- ・指導者の質や量の確保は
- ・場所の確保は
- ・関係者間の合意形成は



②「未来のブカツ」ビジョン(2022年9月)

「学校部活動の地域移行」という政策の自己目的化することなく、U15/U18世代のスポーツ環境の再構築を中心に、生涯スポーツ環境としての「未来のブカツ」の社会システムを提案。

＜所感等＞

- ・部活動の地域移行については、課題が多く(特に、人材・予算・保護者負担)解決できていない。
- ・中体連の在り方も含め、これが解決策というのがないのがむしろ課題
- ・体育部に目が行きがちだが、文化部の課題も大きい。
- ・地域移行は手段であり、いろいろな受け皿を想定しているとのこと。地域のスポーツ環境をどうするか、課題は大きい。
- ・部活動の地域移行が教員の働き方改革につながるはずだったが、そうはなっていないようだ。
- ・部活動の教育的意義を踏まえた地域移行の必要性。平日は学校教育、土日は社会教育でしょうか。
- ・バウチャー制度が広がっているようだが、自治体間の差が大きすぎる。
- ・本市の部活動の地域移行については、課題がありすぎるように思う。できる学区から始め、将来を見据えた話し合いが必要になる。

(4) 教員の働き方改革等について(文部科学省)ー学校における働き方改革の推進ー

- ① 2024年度概算要求(教員の働き方改革関連)(初等中等教育局 財務課 小俣溪定数企画係長)
 - ・小学校高学年の教科担任制1年前倒し。
 - ・令和4年度より、小学校高学年に教科担任制を導入。令和7年度まで毎年度950名の定数改善。令和6年度、7年度分と合わせ、1900名の定数増となる。
 - ・教育業務支援員(SSS)は、全ての小中学校に配置できる見込み。
 - ・新たな施策として「副校長、教頭支援員」を小中1000校に配置予定。
- ② 急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について(渡辺真澄企画審議係長)ー令和5年9月5日 中央教育審議会への諮問ー
 - ・高等教育の在り方を検討する背景・必要性
 - ・「急速な少子化」「グランドデザイン答申以降の高等教育を取り巻く変化」
 - ・主な検討事項
 - ・今後の高等教育全体の適正な規模、高等教育機関間の連携強化、再編・統合等の促進
 - ・文部科学省主体で統廃合しろという進め方ではない。
- ③ 不登校対策(教育支援センターの位置づけと校内教育支援センターの促進)
(児童生徒課 神崎拓真生徒指導第一係長)

○誰ひとり取り残されない学びの保障に向けた不登校対策「COCOLOプラン」の中の主な取り組み

 - ・不登校児童生徒を減らすことが目的ではなく、繋がっていない子をどうキャッチアップしていくか
 - ・不登校支援は保護者支援でもある。
 - ・不登校の児童生徒全ての学びの場を確保し、学びたいと思った時に学べる環境を整える

校内:校内教育支援センター(スペシャルサポートルーム等)の設置促進。各校で柔軟に対応。

校外:教育支援センターの機能強化。アウトリーチが課題。
- ④ 教育振興基本計画(第4期<令和5年度~令和9年度>)について(沼澤綾子振興計画係長)

めまぐるしく変化する社会で、一人一人が社会の担い手となること、そして社会全体のウェルビーイングの向上を目指し、様々な関係者との対話を重ね、教育の羅針盤となる計画。

「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」では、「調和と協調」に基づくウェルビーイングを教育を通じて向上させていくことが求められる、としています。子供たちのウェルビーイングを高めるためには教師をはじめとする学校全体のウェルビーイングが重要。子供・若者⇄学校⇄家庭・地域⇄社会のウェルビーイングの循環の姿の実現が求められる。

 - ・5つの基本方針 16の目標と基本施策、指標
 - ・今後の教育施策の遂行に当たっての評価・投資等の在り方
 - ・策定及び計画実行に当たっての留意事項

<所感等>

2024年度から3年間を集中改革期間とする。また、2024年度中の給特法改正案の国会提出を検討するなど、少子化が進展する中で、複雑化・多様化する課題に適切に対応するため、計画的・段階的に進める。

文部科学省は、小学校高学年の教科担任制1年前倒しで2年分(1900人分)の予算は確保できたが、全国に約19000ある小学校のうち配置されるのは3年で3800校。まだ足りていない。本市に何人配置されるかも未定だが、一人でも多くの配置を期待したい。

教育業務支援員(SSS)全ての小中学校に配置とのことだが、国の予算措置は1/3。残りの2/3を県が負担しなければ進まない。県の対応次第である。

不登校対策の一環である本市適応指導教室(ふれあい教室)の運営にも大きく関わる。人的・予算的な配置も含めて機能強化の推進が必要であるし、そうしなければならない。

教育支援センターの機能強化も本市の課題であると感じた。

国の教育振興計画の中の「日本社会に根差したウェルビーイングの向上」は本市教育振興計画後期計画に具体的にどのように反映されるのか、求められる。

急速な少子化が進行する中での将来社会を見据えた高等教育の在り方について(諮問)に、再編・統合の促進とあり、東北公益文科大学にも大きな影響が懸念される。早期の公立化への取組みが望まれる。

様式第8号 (第5条関係)

政務活動費支出内訳書

- | | | | |
|------|----------|-------------|--------|
| 支出科目 | 1. 調査研究費 | 2. 研修費 | 3. 広報費 |
| | 4. 広聴費 | 5. 要請・陳情活動費 | 6. 会議費 |
| | ⑦ 資料作成費 | 8. 資料購入費 | 9. 人件費 |
| | 10. 事務所費 | | |

No.	年月日	内 容	債 権 者	金 額 (円)	備 考
1	R5. 7. 10	会派コピー代 (6月分)	酒田市	21	領収書・支払報告書
2	R5. 11. 13	会派コピー代 (10月分)	酒田市	376	領収書・支払報告書
3	R6. 1. 11	会派コピー代 (12月分)	酒田市	140	領収書・支払報告書
4	R6. 2. 14	会派コピー代 (1月分)	酒田市	70	領収書・支払報告書
5	R6. 3. 18	会派コピー代 (3月分)	酒田市	14	領収書・支払報告書
合 計				621	

998-8540
酒田市本町2-2-45
市政研究会 様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協
(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
062049 山形県

酒田市

納入通知書・領収書

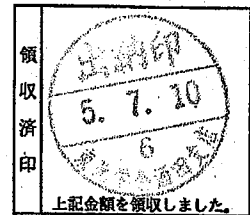
下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥21 円
納期限	令和 5 年 7 月 18 日

摘要	会派等コピー代(6月分)
----	--------------

発行日 令和 5 年 7 月 3 日
管理番号 0023926-005

酒田市長 丸山 至



(納入者用)

998-8540
山形県酒田市本町2丁目2-45
市政研究会 様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協
(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
062049 山形県

酒田市

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥376 円
納期限	令和 5 年 11 月 15 日

摘要	会派等コピー代(10月分)
----	---------------

発行日 令和 5 年 11 月 1 日
管理番号 0056379-006

酒田市長 矢口 明子



(納入者用)

998-8540
酒田市本町2-2-45
市政研究会 様

下記の場所にてお支払ください。
荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
東北労働金庫、鶴岡信用金庫
庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協
(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)
062049 山形県

酒田市

納入通知書・領収書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金額	¥140 円
納期限	令和 6 年 1 月 18 日

摘要	会派等コピー代(12月分)
----	---------------

発行日 令和 6 年 1 月 4 日
管理番号 0074167-005

酒田市長 矢口 明子



(納入者用)

998-8540

酒田市本町2-2-45

市政研究会 様

納 入 通 知 書 ・ 領 収 書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金 額	¥70 円
納 期 限	令和 6 年 2 月 15 日

摘 要	会派等コピー代 (1月分)
-----	---------------

発 行 日 令和 6 年 2 月 1 日

管 理 番 号 0081437-005

酒田市長 矢口 明子



下記の場所にてお支払ください。
 荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
 東北労働金庫、鶴岡信用金庫
 庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

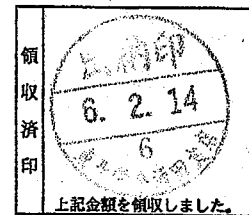
(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)

062049

山形県

酒田市

(納 入 者 用)



998-8540

酒田市本町2-2-45

市政研究会 様

納 入 通 知 書 ・ 領 収 書

下記の金額を納期限までにお支払ください。

金 額	¥14 円
納 期 限	令和 6 年 3 月 29 日

摘 要	会派等コピー代 (3月分)
-----	---------------

発 行 日 令和 6 年 3 月 15 日

管 理 番 号 0094814-005

酒田市長 矢口 明子



下記の場所にてお支払ください。
 荘内銀行、山形銀行、きらやか銀行
 東北労働金庫、鶴岡信用金庫
 庄内みどり農協、袖浦農協、山形県漁協

(郵便局、ゆうちょ銀行では納入できません)

062049

山形県

酒田市

(納 入 者 用)

